

職員インタビュー 『県のシゴト、私のユメ』

農学

取り巻く環境と先進技術を頭に入れ、
研鑽を積んでいきたい



長谷川 淳

国際園芸アカデミー

H17年 採用 郡上農業改良普及センター
H22年 飛騨農林事務所
H25年 農業大学校
H30年 東濃農林事務所
H31年 恵那農林事務所
R 3年 現所属

入庁前と入庁後のギャップはありましたか

面接では、「学生時代学んだことを活かして頑張ります!」と話したのを覚えています。いざ入庁すると、農学職は現場での普及指導や試験研究、農業事務と非常に幅広く、入庁後に学ぶ事の方が圧倒的に多いです。それでも、先輩職員からはフォローがありますし、農家の方も熱意さえあれば力を貸して下さる方ばかりなので心配ご無用です。

一番印象に残っている仕事を教えてください(前職含)

農業大学校勤務時は、農業への関心と熱意のある学生に、講義やほ場での実習を通して、県の主要野菜の生理生態と栽培技術を教えていました。指導する学生たちが、野菜と同じく日々成長していく姿を目の当たりにでき幸せでした。また、普及指導員として生産現場を巡回する際に、第一線で活躍する卒業生の姿を見ると胸が熱くなります。

仕事とプライベートをどのように両立されていますか

『良い仕事は、良い私生活の上に立つ。』初任の頃教わり、以来、大切にしている言葉です。2人の子どもと過ごす時間や趣味のマラソン練習の時間は、心身のリフレッシュや思考の整理、時には新たな発想が浮かぶこともある大切な時間です。こうした時間を作り出すためにも、常に「効率」を意識して仕事にあたっています。

今後実現したい夢はなんですか

農業生産技術は常に進歩しています。どんな時も農家経営が上向き支援ができるよう、取り巻く環境と先進技術を頭に入れ、研鑽を積んでいきたいです。

畜産

農家さんが気軽に相談することのできる
県職員でありたい



野々村 遥

恵那農林事務所

H28年 採用 飛騨農林事務所
H31年 畜産研究所
R 3年 現所属

入庁前と入庁後のギャップはありましたか

県職員ということで書類仕事ばかりと思っていましたが、管内の畜産農家へ訪問したり、家畜市場に行って直接家畜を見る機会も多いです。また、畜産研究所や農業大学校での勤務も可能なので、技術系職員ならではの職場もたくさんあります。

現在の仕事内容を教えてください

恵那市及び中津川市を管轄とする現地機関で勤務をしています。飛騨牛の生産振興のために畜産農家を巡回したり、自給飼料を生産されている畜産農家または耕種農家を訪問して収量調査の手伝いをしたりもします。また、新規就農される方の就農相談・支援を行っています。

働く環境についてはどう思われますか

業務または私生活で困ったことがあれば周りの職員の方がいつでも相談に乗ってくれますし、休みも取得しやすいと思います。テレワーク用/パソコンを利用した在宅勤務やウェア会議も可能なので、柔軟性に富んだ働き方ができると思います。

今後実現したい夢はなんですか

岐阜県の畜産業は農家さんがいてこそですが、今後も岐阜県の畜産業が維持、発展していくためには、県を含めた関係機関との連携が必要です。農家さんが気軽に相談することのできる県職員でありたいと思います。

森林科学

「ぎふ木育」に関する活動が取り入れられ、
心豊かに暮らす社会を実現したい



長沼 慶拓

ぎふ木遊館

H17年 採用 飛騨地域農林商工事務所
H18年 飛騨農林事務所
H20年 県産材流通課
H23年 林政課
H25年 恵みの森づくり推進課
H28年 損斐農林事務所
H29年 岐阜農林事務所
H30年 地域振興課
H31年 現所属

岐阜県の魅力は何だと思われますか

「飛山濃水」と言われるように、標高3,000m級の山々から海拔0mの平野まで変化に富んだ地形と流れる大小の河川が色彩豊かな自然環境を形づくり、季節を変えて目を楽しませてくれます。また、東西南北の文化の分かれ目に位置し、様々なモノ・コトが交わる場所でもあります。この多様性やカオスは岐阜県の魅力といってよいと思います。

一番印象に残っている仕事を教えてください(前職含)

恵みの森づくり推進課で、岐阜の森や木に誇りと愛着を持ってもらう「ぎふ木育」を担当し、県内の様々な実践者から意見を伺い、共通する理念をまとめた「ぎふ木育30年ビジョン」を作りました。翌年以降、ビジョンに沿って、実践者の交流会・研修会、木のおもちゃ導入補助事業の創設等を実現し、現所属の「ぎふ木遊館」開設につながったので印象深いです。

仕事とプライベートをどのように両立されていますか

仕事で得た経験や人のつながりはプライベートを楽しむうえでも役に立ちます。その逆も然りです。初めての子どもが生まれた時に「ぎふ木育」の担当になりましたので、自分の子育てをしながら、当事者目線で仕事のことを考えることができました。仕事とプライベートとの共通項を見つけ、自分事として楽しむことが大事だと思います。

今後実現したい夢はなんですか

仕事のうへでは、「食育」と同様に、全ての保育園・幼稚園・学校で「ぎふ木育」に関する活動が取り入れられ、心豊かに暮らす社会に近づくことです。個人的な夢は、多くの人が集まって自由に森を楽しむロッジを運営することです。